



東広島医療センター

NEWS

Higashihiroshima
Medical
Center
News

平成28年
夏号
vol. 121

大沢田

おお さわ たん

大沢田の名は、病院前にある大沢田池に由来します。古くは大蔵田池と言われていましたが、今では大沢田池の呼称が一般的になっているようです。



TOPICS

「天使のたまご」ってご存じですか？

看護部長 神田 弘子

安達伸生教授 特別講演
「関節軟骨再生医療
-現状と未来-」
整形外科 渋谷 早俊

骨粗鬆症予防対策チーム誕生
骨粗鬆症マネージャー 山中 祐二



CONTENTS

「天使のたまご」ってご存じですか? 看護部長 神田 弘子	2	新治療棟アンギオ装置稼働について	6
【医療の話題71】脳神経外科	3	骨粗鬆症予防対策チーム誕生	7
【医療の話題72】外科	4	初期臨床研修医挨拶	8・9・10・11・12・13・14・15
安達教授特別講演会	5	人事異動	15



「天使のたまご」ってご存じですか?

看護部長 神田 弘子

約30年前、看護師の仕事を始めた頃、生涯学習と言う言葉が聞かれるようになってきた時期でした。当時の看護婦長さん(以前は看護師長さんを看護婦長と呼んでいました)から雑誌の1冊くらい購読するように言われました。仕方なく、「看護実践の科学」と言う雑誌を毎月購入しました。しかし、なかなか自分の就職した科に関するテーマがなく、必ず読んでいたのは、連載されている「天使のたまご」という漫画でした。著者は、私と同年代の方で看護学校卒業後、病院に就職し漫画の連載もしていると言う二足の草鞋をもった方でした。そこにも興味があったのでしょうか。漫画の一部を紹介しましょう。

「天使のたまご」は、100%実体験の私(著者)のナース物語です。これまで、生きた中で一番辛かった時期は?と聞かれたなら皆さんは何て答えますか?私の場合は迷わず「看護学校の3年目!」です。ナースを目指すための最大の試練、1年間にもわたる病院実習があったからです。それまでの2年間の机上の勉強を実施で試せ!とばかりに一斉に病院実習に放り出される看護学生たちは、みな国家試験を受ける前の素人です。恐怖の無免許運転で、2~4週間ごとに各病棟をまわり、受け持ち患者さんと一緒にあちこちフラフラ、こっちにフラフラ…。そんな危なっかしい学生に病棟ナースのいじめ…イエ、指導は厳しく毎日8時から17時までみっちり病院でしばられ、寮に帰ってからも(以前は全寮制でした)その日の看護の評価、翌日の看護計画を練り、実習記録を書き、疾患レポートを書き、ナースから出された課題をこなし、カンファレンスの準備、平均睡眠時間は3時間。昔のアイドル並みの忙しさがありました。病棟に行くと「学生さん!アイライン濃すぎっ!化粧落としなさいっ!」ナースからの注意に、(化粧なんかしてませんっ。ただのクマです….)と心でつぶやく毎日。ある日患者さんがベッドのカーテンを閉めて、ここに座りなさい。肩をもんぐれました「凝ってるわねエ、大丈夫?」患者さんを助ける立場のはずが、助けられました。看護学生だから許され…ませんか?やっぱり、つらいのは私じゃなくて、受けもたれた患者さんの方?かもしれません…

どうですか。私と同じように「そうそう」「あった。あった。」と思われた方はどのくらいいらっしゃるでしょうか。当時は、天使

の職業と言うよりやるしかない。涙は、明日の糧にして前進あるのみで頑張ってこられた方ばかりだと思います。いや私が勝手にそう思っているのかもしれません。

最近、仕事を始めた方は、どのように思われたでしょうか。時代が変わり、便利な社会になりましたが、人間は変わっていませんよね。看護師の私たちは、機器を使った情報はもちろんですが、コミュニケーションをとり、見て、聴いて、触れて観察して行くことは今も昔も同じです。沢山の情報を得、患者さんの看護をしていますが、実は患者さんから多くのことを学んでいるのです。患者さんと関わりながら私たち看護師は、専門性を磨き人間的にも成長していくと思っています。今年の4月に「たまご」から「ひよこ」に孵った看護師と「ひよこ」を育てている有望な看護師たち。私は、今そんな仲間に刺激を受けながら働いています。どうぞ末永くよろしくお願い致します。



看護部長 神田 弘子

脳梗塞の最新治療について

脳神経外科 原 健司

Health topic 71

脳梗塞とは、血栓をはじめとした塞栓物質により動脈が詰まることで血液が流れなくなり、脳に酸素や栄養などが届かなくなって脳細胞が死んでしまう病気です。2005年10月に「組織プラスミノーゲン活性化因子(t-PA)」が承認を受けて以降、脳梗塞を発症してから4.5時間以内の症例に対して血栓を溶かして血液が再び流れるようにする『血栓溶解療法』が普及してきました。しかし、t-PAが無効であった例や適応外で本治療を受けることができない例も見られました。

近年、このような症例に対して、発症後8時間以内という条件の元で、血栓を溶かすのではなく物理的に血栓を回収する『血栓回収療法』が脚光を浴びており、その安全性・有効性が数多く報告され、当院でも大学病院脳血管内治療チームの協力の元に脳梗塞に対して血管内治療を行うことが増えて参りました。

今回は脳神経外科の医療トピックスとして、血栓回収療法によく用いられる新しい医療機器(デバイス)とその仕組みを簡単に紹介したいと思います。

吸引型血栓回収デバイス 「Penumbra system®(ペナンブラシステム)」

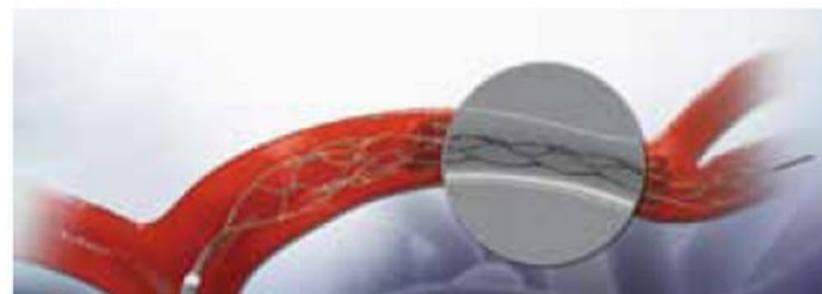
Penumbraは2011年6月から承認されたデバイスで、血栓の手前(中枢側)にカテーテルを誘導し、ここから掃除機のようなポンプを用いてこれを吸引回収する器具です。直徑の異なるカテーテルがあるため、閉塞した動脈部位により使い分けることができ、高い安全性と有効性を有しております。



(画像：Penumbra 公式紹介動画より引用)

ステント型血栓回収デバイス 「Solitaire®(ソリティア)」「Trevo®(トレボ)」

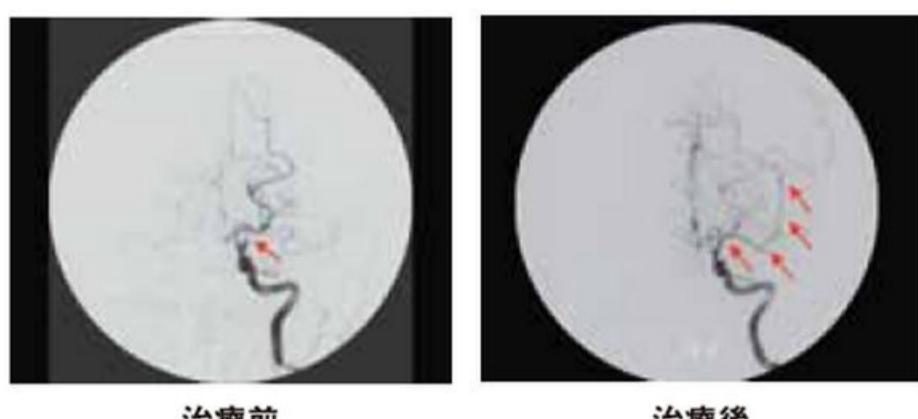
2014年から使用可能となった新しいタイプのデバイスで、閉塞血栓部位に誘導・留置し、ここでステントを開設して血栓と絡めて回収することで治療効果を発揮します。欧米における血栓回収デバイスの主流となっており、当科でも使用経験を有しております。



(Stryker Japan 公式サイトより引用)

【自験例】

43歳、男性。発症2時間後に意識障害、右片麻痺、言語障害で当院救急搬送となりました。発症4時間でt-PA投与するも効果乏しく、そのまま血管内治療を企図しました。脳血管撮影で左内頸動脈末端部より血流欠損が認められ、ステント型血栓回収デバイスTrevoを用いて血栓回収を行ったところ、前および中大脳動脈の再還流が得られました。



本自験例のように以前であれば意識障害や片麻痺、失語症など重度後遺症を残していた例であっても、社会復帰やADL向上が期待できる治療法として積極的に取り組んでいる病院が増えてきており、また患者自身のみならず、ご家族や施設スタッフの介助負担の軽減にも寄与する可能性を秘めています。当科としても当院神経内科の協力の元に積極的に取り組んでいきますので、急患対応等で脳梗塞もしくはそれが疑われる場合はいつでもご相談下さい。今後とも宜しくお願い申し上げます。



大腸癌に対する腹腔鏡手術について

外科 下村 学

Health topic 72

大腸癌に対する腹腔鏡手術は、本邦では1993年に初めて報告され、その後手術手技や手術機械の進歩に伴って、急速に普及しています(1)。当初は早期大腸癌や良性疾患を対象としていましたが、技術的に開腹手術と同程度のリンパ節郭清を行うことができるようになり、進行癌に対しても適応を広げている施設が多くなっています。

腹腔鏡手術は、腹壁に5-12mm程度の小孔を数ヶ所あけ(通常は5箇所)、腹腔内を二酸化炭素で膨らませることで手術空間を得、細長いカメラ(腹腔鏡)と手術器械をその小孔から腹腔内に挿入し、術者、助手はテレビモニターを見ながら手術を行います(図1)。当院では多くの施設と同様に、腸管の剥離、受動操作、リンパ節郭清、血管処理を腹腔鏡下で行い、その後3-5cm程度の小開腹創から腸管の摘出、吻合操作(直腸切除では再氣腹下に腹腔内で腸管吻合)を行っています(図2)。

腹腔鏡手術の利点は、開腹手術と比較して腹壁の切開が少なく(図3)、創痛が少なく美容面で優れ、術後の回復が早いことなどが報告されています。さらに生体への侵襲が少ない、腹膜への障害が少なく、術後の癒着性腸閉塞を軽減し得るなどのメリットも示唆されています(2)。課題としては、手術手技習得の困難さ、手術時間の延長、医療コストなどが挙げられます。

広く普及した腹腔鏡手術ですが、癌の手術として安全、妥当であるかについての検証が重要です。結腸癌を対象として、1990年代から欧米において開腹手術と腹腔鏡手術のランダム化比較試験が行われ、安全性や、長期成績が開腹手術と比較して同等であることが報告されてきました(3)。しかしながら欧米と日本では大腸癌の治療成績に大きな乖離があり、これらの臨床試験が、日本国内での治療実態を反映していない可能性が問題視されていました。このような背景から、日本国内において

結腸進行癌を対象として開腹手術と腹腔鏡手術の治療成績を比較する大規模ランダム化試験が行われ(JCOG 0404試験)、2015年にその結果が報告されました(4)。腹腔鏡手術群における5年全生存率が91.8%(開腹群で90.4%)と非常に良好な成績が報告されましたが、統計学的に開腹手術に対する非劣性を証明できず、残念ながら腹腔鏡手術は進行結腸癌に対する標準治療としての地位を確立することができませんでした。しかしながら腹腔鏡手術は、縫合不全を始めとした重篤な合併症の発生頻度は同程度であり、短期成績において出血量、鎮痛剤の使用回数や創関連合併症が少なく、術後在院期間が短いなどのメリットが示されました。これらの結果から、腹腔鏡手術は進行結腸癌に対しても安全で、患者さんにやさしい有効な治療オプションの一つであると理解する流れになっています。

なお直腸癌に対する腹腔鏡手術はより難易度が高く、充分に有効性と安全性が確立していないとガイドラインで位置づけられています。国内では早期直腸癌に対する腹腔鏡手術の短期成績における妥当性が検証され、近日中に長期成績が報告される予定です。進行直腸癌に対しては、欧州の研究グループが、2015年度のNew England Journal of Medicine誌に開腹手術と腹腔鏡手術のランダム化比較試験における腹腔鏡手術の同等性を報告しており(5)、進行直腸癌に対しても腹腔鏡手術は有望な治療手段であると期待されます。

当院でも大腸癌に対する腹腔鏡手術を積極的に行っております。早期大腸癌だけでなく、近年の大規模臨床試験の結果も考慮し、進行結腸癌、直腸癌に対しても適応を厳密に評価しながら行っています。癌の手術としての根治性、安全性を確保しながら、患者さんにやさしい低侵襲手術を提供していきたいと考えています。

【図1】

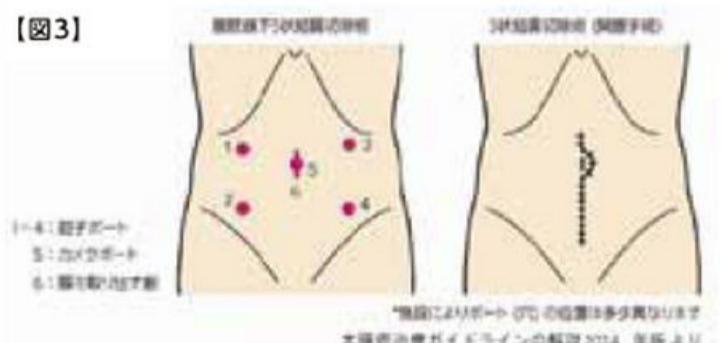


大腸癌治療ガイドラインの概説2014年版より

【図2】腹腔鏡下直腸前方切除術



【図3】



参考文献:

- (1) 長谷川傑 他. 日本臨床 増刊. 2011; 409-413
- (2) Shimomura M et al. Surgery. 2013; 344-356
- (3) 金原出版:大腸癌治療ガイドライン 医師用 2014年版
- (4) Inomata M et al. J Clin Oncol. 2015 (suppl 3; abstr 656)
- (5) Bonjer HJ, et al. N Engl J Med. 2015; 372: 1324-1332



Information 1

安達伸生教授 特別講演 「関節軟骨再生医療-現状と未来-」

整形外科 渋谷 早俊

平成28年4月13日、東広島医療センター大會議室において、平成28年1月より広島大学大学院医歯薬保健学研究院総合健康科学部門医学分野整形外科学第5代教授に就任された安達伸生教授の特別講演会が開催されました。

まず初めに、広島大学整形外科学教室が昭和32年に初代伊藤鐵夫教授により開設され、第2代津下健哉教授、第3代生田義和教授、そして第4代教授で、現在広島大学学長をお勤めになっている越智光夫学長に引き継がれ、開設以来約60年となる歴史と伝統があることを述べられました。

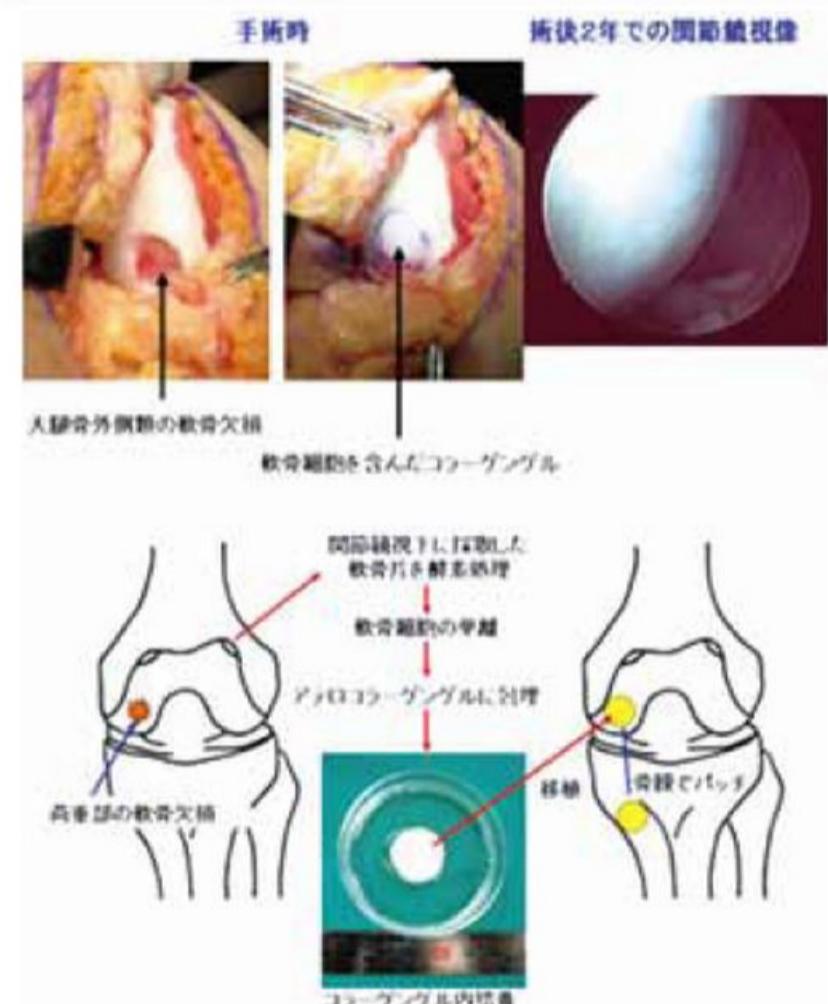
今回の講演の演題が「関節軟骨再生医療-現状と未来-」であり、越智学長とともに長年取り組んできた、軟骨再生というテーマがありました。関節軟骨は血管がないため、一度損傷すると再生されない組織です。培養した軟骨細胞を移植する方法が海外で発表されました。この方法は培養した軟骨細胞を欠損部に注射して入れただけであり、細胞が関節内に漏れて散ってしまうという弱点がありました。この弱点を克服するため、1996年に、越智学長とともに安達教授は、当時の島根医大にて、培養した軟骨細胞を動物から抽出したアテロコラーゲンゲルの中に注入して培養する方法を世界で初めて開発し、臨床応用を行ってきました。またその技術をジャパン・ティッシュ・エンジニアリング（JATEC）というベンチャー企業に技術移転を行い、日本中に普及させる過程、およびその苦労を講演していただきました。そして、ついに2013年には自家培養軟骨「ジャック®」が保険診療の適応を得て、全国の認定施設で培養軟骨移植術が行われるようになった歴史を述べられました。そして今まで行われた培養軟骨移植術の成績について講演していただきました。

また、現在整形外科学教室で取り組んでいる、培養した間葉系幹細胞をMRI用の造影剤を混ぜて磁性化させて、これを電磁石装置を用いて組織欠損部に効率よく集積させる、最先端の細胞デリバリーシステムについてお話ししていただき、広島大学整形外科が日本の再生医療に貢献していく姿勢を示していただきました。

現在、広島大学はスーパーグローバル大学14大学のうちの1つに選出され、ますます国際競争力をどんどん高めていく必要があり、若い先生らには、海外留学での経験、海外学会への発表・講演の重要性を示していました。

講演の最後には当院で研修されている愛娘夫婦との写真を娘さんたちには内緒で披露していただき、温かい家庭的一面まで見せていただきました。

組織工学的手法を用いた軟骨再生



新治療棟アンギオ装置稼働について

副診療放射線技師長 大下 毅

平成28年4月に新治療棟が完成し、6月より新アンギオ装置が稼働致しました。既設の1台の老朽化が進む中、近年アンギオ装置を用いたIVRが盛んになってきており、件数も年々増加し、緊急の心カテ等の対応が不安となっていました。新アンギオ装置は、島津製作所製の12インチ×12インチFPD(フラットパネル)搭載バイプレーンシステムで、製品名はTriniasB12Mixpackageといいます。島津製作所と聞いて首を傾げる方も多いと思われますが、平成14年にソフトレーザーによる質量分析技術の開発をして、現役サラリーマン初のノーベル賞受賞として日本国内で大きな話題となった田中耕一さんが勤めている会社と言えば思い出されるのではないでしょうか?

装置の特徴をお話しします。

【大画面モニタ】

アンギオ室内には58インチの大画面モニタを設置し、ライブ像、リファレンス像、3Dワークステーション、生体モニタ、血管内超音波、PACS等を自由なレイアウトで画面内に配置することができます。

【高速セットアップ】

検査開始前やリストートをする際に、システム電源をONにしてから2分以内に検査が可能です。救急の場合にもすぐに検査が開始できます。

【3Dワークステーション】

3Dワークステーションを搭載し、MDCTとの連携が可能になりCT画像をDICOMデータにて取り込み、透視像との重ね合わせ、Cアームとの角度連動が可能です。術中にCアームを回転させCTのような断面像を作ることができます。腹部、頭部IVR時に有用です。この装置では16bitでの処理が可能になったため低コントラスト分解能が向上し、高画質が期待できます。

【SCORE RSM】

この装置の最も優れた機能であるSCORE RSMは、動きに非常に強いDSAで、Cアームの歳差・振子動と組合せることで一度の造影で3次元的な血管像が得られ、造影剤の低減に役立ちます。また息止めの困難な患者や、全下肢の追跡造影にも有用なアプリケーションだと思います。原理は長くなるので今回は省略します。これらの高画質設計に加え、低被ばく設計も数多く組み込まれています。

【MBHフィルタ】

Cu、Al、Auを組み合わせた4種類の軟線除去フィルタを撮影条件ごとに設定し、画像に貢献しない軟X線を除去できます。

【SCORE PRO Advance】

低残像、低ノイズを高レベルで実現し被ばく線量を最大で50%低減できます。

【(グリッド制御)パルス透視】

術式内容に応じたパルスレートを10種類(30pps~1pps)から選択でき、低線量パルス透視モードにおいて従来のパルス透視では発生していた不要な部分をグリッド制御により除去できます。

【バーチャルコリメーション】

透視なしで、コリメータの絞りをグラフィック的に表示できます。

【透視画像記録】

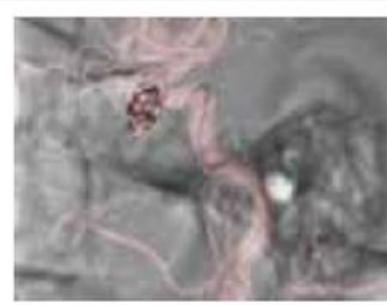
記録したい手技の透視シーンを最大1023フレームまで遡って保存でき、撮影回数を減らすことでトータル的な被ばく低減につながります。

以上のように低線量で高画質、このトレードオフにある2つをシステム全体でバランスよく実現できており、患者と術者に配慮された装置であると思われます。

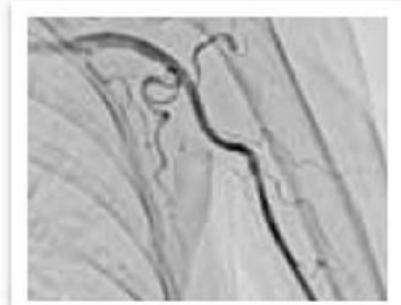
また撮影室、操作室も既存の部屋より格段に広くなり、快適な空間となっています。様々な機能を使いこなして、より高度なインターベンションをより安全に提供できる様頑張りたいと思います。



装置全体



3Dロードマップ



SCORE RSM



Information 3

骨粗鬆症予防対策チーム誕生

骨粗鬆症マネージャー 山中 祐二

「骨が折れただけで助かって良かったね」よく高齢者の転倒骨折で家族から聞かれる言葉です。本当にそうなのでしょうか?

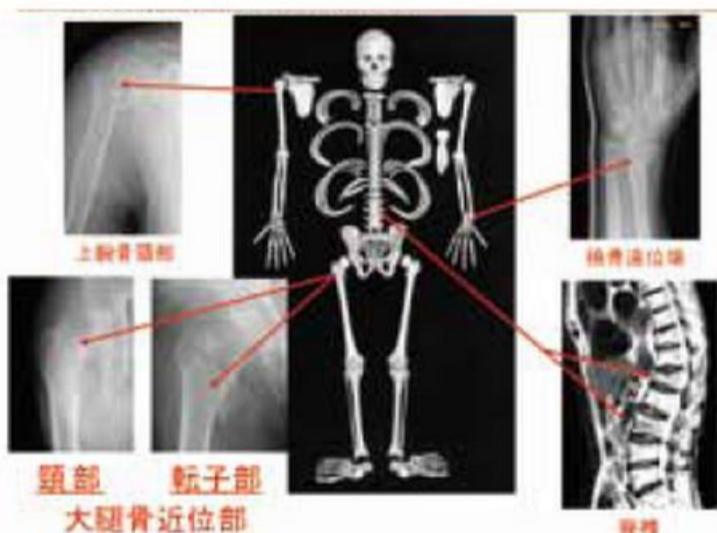
高齢者の骨折は自覚症状のない、骨粗鬆症が原因で起こります。骨粗鬆症の患者は「くしゃみ・転倒」などわずかな外力で骨折します。代表的な骨折部位は、脊椎、手関節、大腿骨近位部があります。(図1)骨粗鬆症性骨折の治療として手術が必要なことが多く、また高齢者の場合、高血圧、糖尿病などの生活習慣病や心臓疾患、脳梗塞などの合併症を持っている人が多いので、手術することだけでもリスクがあります。特に大腿骨近位部骨折を受傷された方は死亡率が骨折のない人に比べて**4倍**になると言われています。また、近位部骨折後の5年生存率は早期乳がん、早期前立腺がんに比べて悪いという報告もあります。(図2)従って、「骨が折れただけでよかった、手術すれば治る」とは言えず、**骨粗鬆症性骨折は命に関わる病気なのです**。骨粗鬆症性骨折は要介護の原因の**第3位**なので、放置すると寝たきりになる危険が高まります。(図3)

近年欧米では骨粗鬆症治療薬の普及により大腿骨近位部骨折が減少傾向ですが、残念ながら先進国の中でも**日本だけは減少せずむしろ増加傾向**にあります。これは骨粗鬆症に対する**治療開始が遅く、治療継続率が低い**ことが原因と言われています。(図4)

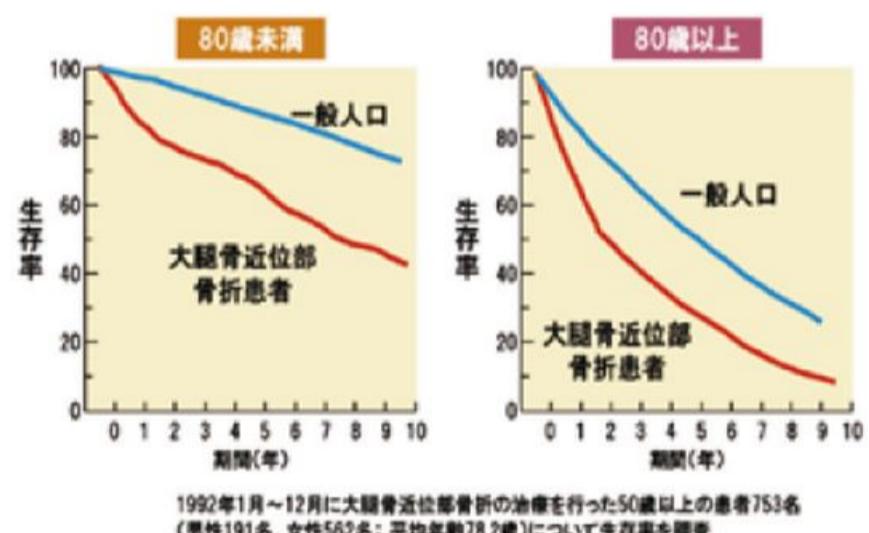
これを防止するために考えられたのが、「**骨粗鬆症リエゾンサービス**」です。これは、地域の総合病院と開業医とで情報を交換・共有し、薬物治療、転倒リスクの評価、運動や生活習慣の改善プログラムの提示など、骨折を防ぐため多職種の医療者がチームになって治療をサポートするものです。(図5)

当院でも2016年4月から、院内骨粗鬆症予防対策チーム「貯骨人(ちょこっと)」を立ち上げ、整形外科医、看護師、薬剤師、理学療法士、管理栄養士、臨床検査技師、放射線技師、事務専門職の多職種で活動していく予定です。まだ始まったばかりの取り組みで、試行錯誤の状態ではありますが、少しでも高齢者の骨折が減るよう努力を続けていこうと思います。

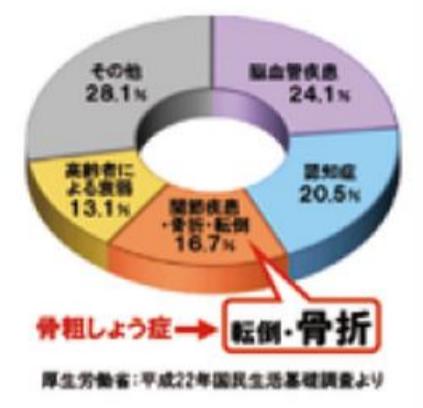
【図1】骨粗鬆症性骨折部位



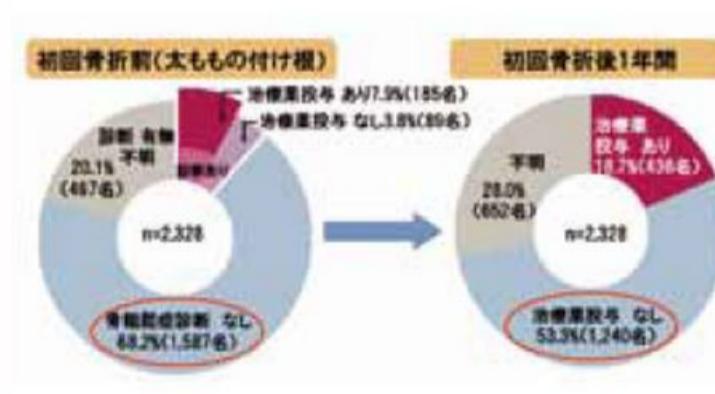
【図2】大腿骨近位部骨折患者は生命予後が悪い



【図3】介護が必要になった原因



【図4】骨粗鬆症治療率と継続率



【図5】骨粗鬆症リエゾンサービス



初期臨床研修医 唐口 望実

初めまして、初期臨床研修医2年目の唐口望実と申します。平成26年度に広島大学を卒業し、去年一年間は広島大学病院で研修していたのですが、今年4月より東広島医療センターで研修させていただくことになりました。出身は広島県東広島市八本松であり、当医療センターには私の家族や親戚が大変お世話になっております。八本松小学校、八本松中学校、広島県立広島高等学校を経て、広島大学に入学しているため、広島県内はもちろん東広島市内からあまり出たことはなく、生粋の東広島人です。そのため、西条・八本松を中心として東広島市には特別、愛着はあります。大学時代は中学生から続けていた卓球部に所属して西条キャンパスと広島市南区の霞キャンパスで活動しておりました。趣味は特に思い当たりませんが、お酒を飲むことは好きです。

当院の研修を希望した理由は大きく3つあります。長年、東広島市で生活していたため近隣住民からの当院への信頼度がとても高いということを身に染みて

感じております。そして病院見学でもスタッフの一人一人が優しく生き生きとしており働きやすい環境だと感じました。そんな病院で研修できたら、きっと自分の医師生活の良いスタートを切ることができるだろうと考えました。二つ目の理由はきれいな病院施設です。外来や病室、スタッフルームや医局が常に清潔にされており、仕事環境の良さがうかがえました。さらに新たなIVR室や手術室、医局などが増設され、施設が充実してきたということも理由の一つです。もう一つは、長年過ごしてきた東広島市に何らかの形で恩返ししたいと考えたからです。まだ、研修医という立場ではむしろ基本的なところから教えていただく形になりますが、少しでも還元できたらと考えております。

まだまだ、医師としても社会人としても未熟な部分があり、当院スタッフの皆様には大変ご迷惑をおかけすると思いますが、自分なりに頑張りたいと思っております。これから一年間、どうぞ優しく、(時々)厳しくご指導・ご鞭撻の程、よろしくお願ひいたします。





初期臨床 研修医挨拶 2

初期臨床研修医 後藤 和貴

研修医1年目の後藤和貴と申します。今年の3月に福岡大学を卒業し、4月から東広島医療センターで研修させて頂いております。まずは簡単に自己紹介をさせてください。僕は生まれも育ちも福岡の24歳で、結構な人見知りでなかなか自分から声をかけたりできるタイプではないですが、人と話すこと自体はとても好きです。大学時代は軟式野球やバレーをやっていました。その他スポーツはテニス、卓球、バスケットボール、バドミントンなどだいたい何でも好きなので、皆様から誘っていただけることを心からお待ちしています。

地元の福岡についても少しだけ触れます。僕はずっと福岡市内に住んでいたのですが、ほどほどに都会で交通の便が良くとても住みやすい場所だなと思います。あと観光地はあまりないですが、何と言ってもごはんがおいしいです。特に豚骨ラーメンは飲み会の締めに毎回行きたくなるくらいおいしいのですが、こちらに引越してきてからなかなか食べられず少し寂しい気持ちでいます。また福岡と言えば、ソフトバンクホークスです。カープに負けないくらい熱い試合を繰り広げていますので、福岡にお越しの際は是非ヤフオクドームへも足を運んでみてください。そして今年からはカープを応援していますのでマツダスタジアムでの観戦にも是非誘ってください。

まとめますと、皆様もしチャンスがありましたら将来は福岡への移住を考えてみてはいかがでしょうか。間違いなく気に入ると思います。そんな福岡生まれ福岡育ちの私がなぜこの病院を研修先に選んだのかについても触れさせていただきます。人々、県外へ出て知らない土地で自立した生活をしてみたいという気持ちもあった

のですが、研修病院を探していく中で、たまたま参加した広島県主催の合同病院説明会にてこの病院を知り、研修医の先生方からお話を伺い、雰囲気の良い病院ということで興味を持ち、実際に二度、病院見学をさせていただいて院内の全体的な雰囲気の良さと先輩研修医の方を含め、指導医の先生方の熱心さ、親切さを体感し、疑問を持ったときに質問もしやすいような環境だと感じました。僕が探していた病院はこのような病院だと強く思い、この病院での研修を希望するに至りました。

実際に4月から働いてみて、循環器内科でお世話になっているのですが、心電図の読み方、心エコーや冠動脈造影検査での動脈穿刺、心筋シンチでのルート取りなどの手技を先生方から教わることができます。また検査技師の方々にもエコーを教えていただいたり、看護師の方々には日々の業務でわからないことを親切に教えていただいたりと温かい雰囲気に包まれて、まだまだ不慣れではありますが、確実に前進しているなと実感できています。仕事以外でもBBQや歓迎会、スポーツなどを通じて多くの先生方やコメディカルの方々ともコミュニケーションをとりながらフレッシュできて日々にメリハリがあって充実しています。

広島に住むことも初めて、医師としても駆け出しの僕ではありますが、この二年間で積極的に明るく楽しく学んで、この病院の役に立てるよう精一杯頑張りますのでご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。



初期臨床研修医 竹石 雄介

こんにちは東広島医療センター 統括診療部 初期臨床研修医1年目竹石雄介と申します。出身大学は広島大学で、出身地は新潟です。広島は大学に入学して初めて訪れたところなので縁もゆかりもないところでしたが、大学生活を広島で過ごしているうちに私に様々な広島化が起きました。PASPYも買い、広島銀行ともみじ銀行の口座を作り、帰省の際にはお土産に生もみじとカープかつに海軍カレーかつを買って帰ります。そしてお好み焼きに「広島風」とつけていたただのお好み焼きと呼ぶようになり、箸ではなくヘラで食べるようになり、マヨネーズはつけず、調子がいい日にはそばをダブルにするようになりました。次はカープの試合を見に行くようになりました。初めは友人がチケットを持っていたから付いていった程度でしたが、次第に1番安い席を自分で買い、気づけば徐々にいい席が欲しくなっており、ついにはチケットの発売日に並ぶように

までなっており、チケットが手に入らなかた時にはしばらく憤っていました。最後に広島で私の身に起きた人生で1番大きな広島化は、今年の3月に広島の女性と結婚し、本籍地も広島にしたことです。そしてこの4月には結婚式を挙げ、披露宴会場のメッセージカードには自分で後悔するくらいに無数のカープ坊やの絵を描き自分の意識していないところで広島を求める傾向があることを痛感しました。

東広島での生活は大学1年生の時に教養課程で広島大学の本学に通っていた時以来なので、少しだけ見知った土地なのですがまだ分からことが多いので、良い所もまだまだたくさんあるでしょうし色々と教えていただきたいです。また、医師としても早く仕事を覚え皆さんのお役に立てるよう頑張っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。





初期臨床 研修医挨拶 4

初期臨床研修医 竹石 直子

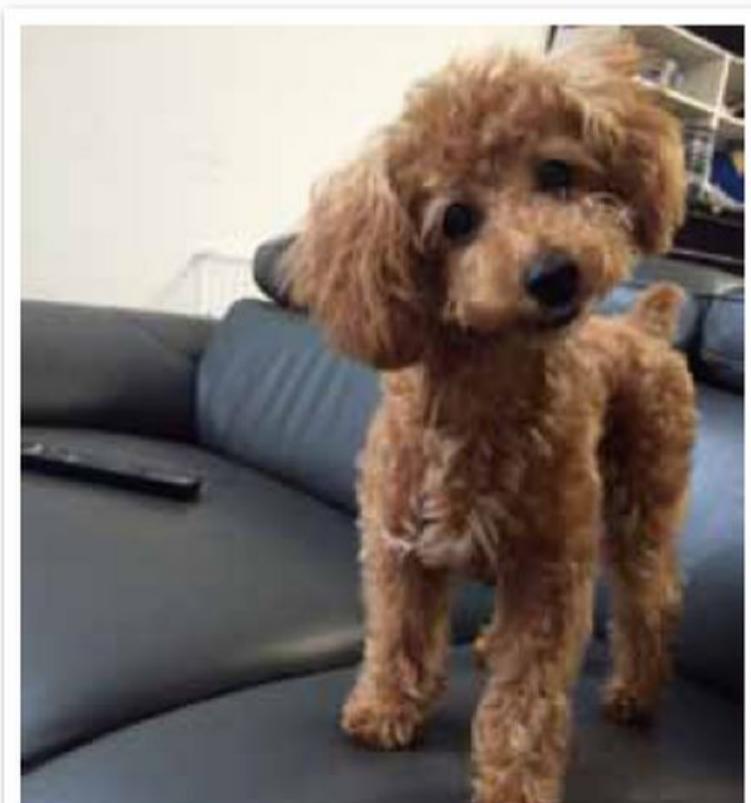
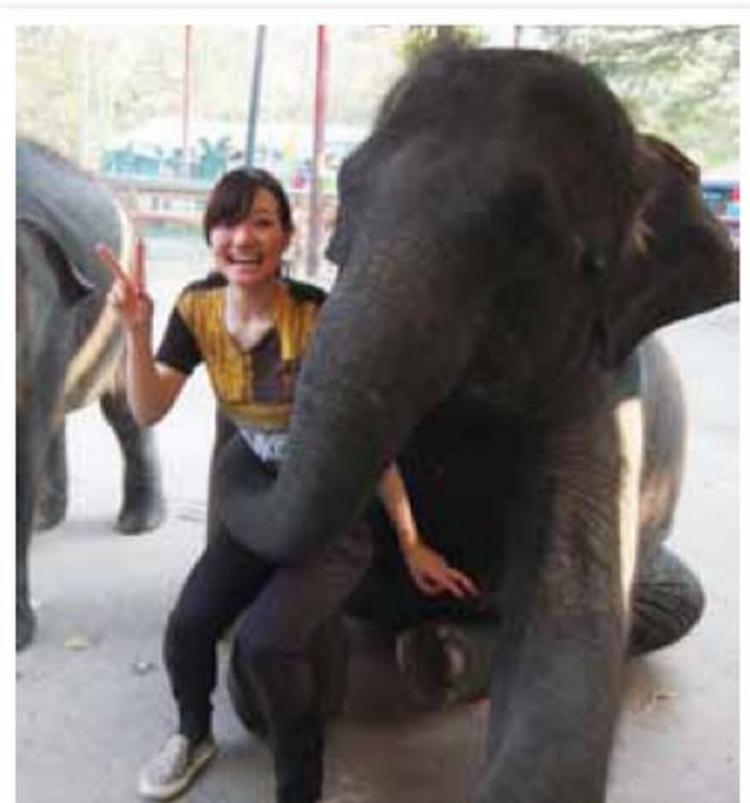
初めまして、竹石直子と申します。3月に広島大学を卒業し、4月より東広島医療センターで研修医として働いています。私は生まれも育ちも広島県ですが、東広島で暮らすのはこれが初めてなので、道もお店も何がどこにあるか分からぬことだらけです。ぜひ東広島のことを色々教えていただけると嬉しいです。

私が東広島医療センターで研修したいと思い始めたのは、病院見学や大学の実習でこちらへ来て以来です。病棟がきれいで明るく、病院全体の雰囲気が良いというのが第一印象でした。先生方もとても丁寧に色々と教えて下さり、ここで研修すればきっと充実した2年間になると思いました。また、大学卒業後に結婚し

夫婦で一緒に研修することも考えていましたので、それを快くご理解くださったのも大きかったです。実際に4月より働き始め、先生方やコメディカルのスタッフの方々には手厚くご指導いただき、何もできない自分に無力感を感じつつも、とても充実した日々を送っています。

写真は新婚旅行で行ったスペインのアルハン布拉宮殿と、卒業旅行でタイに行ってゾウに巻き付かれて騒いでいるときのもの、実家の愛犬こむぎです。まとまりのない3枚ですみません…。

まだまだ分からぬことばかりで皆さまには多々ご迷惑をおかけしてしまうかと思いますが、精一杯頑張っていきますので、どうぞよろしくお願ひいたします。



初期臨床研修医 山中 亮憲

多くの方にはお初にお目にかかることとなると思います。臨床研修医1年目の山中亮憲と申します。今年度より縁あって、ここ東広島医療センターで臨床研修医として働かせていただくことになりました。長年の夢であった医師になるという目標を叶えることができ、他人の力になることができるのだというワクワクした想いと、責任ある職業についていたのだという緊張感とを日々抱えながら、現在研修を積ませていただいています。

私がここ東広島医療センター初期臨床研修の病院として選んだ理由は、何といっても診療科ごとの垣根が非常に低いということです。患者さんのためを一番に考え、少しでも不安な点が浮かんだ時には、他科の先生やスタッフさんと連携を取りながら診療を行っていく場面を、先生方には学生の時から何度も見せていただきました。

とりわけ研修医においてはその傾向が強く、研修を積んでいる科の先生に気軽に教えを請うことができることは勿論のこと、他科の先生にも相談や手技の勉強をお願いできるというのはこの病院の大きな魅力だと思います。早くこの病院の一員として、私もその流れの中で協力していくことができるよう頑張っていきたいと考えています。

また、自己紹介をどうぞとスペースをいたたいていますので私自身についてのことを少しだけ。生まれも育ちも広島で、中高は広島学院高校。大学は広島大学の医学部を卒業し、ここ東広島医療センターに研修医としてやって参りました。人生24年間をずっと広島で過ごしていることになります。大学ではバスケットボールのサークルに所属し、3年生次には頼りないながらもキャプテンとして楽しく活動を行っていました。また、見るのもするのも野球が好きで、大学の同期の草野球チームでサードを守っていました。その振り回すバッティングと危なっかしい送球動作から、同い年であることもあります『顔以外霞の堂林翔太』と呼ばれていたとかいないとか……。一度だけマツダスタジアムのマウンドで投球したことがあるというのが密かな自慢です。

ここ東広島医療センターで働き始めてから、一日一日が飛ぶように過ぎて行っています。覚えることも多く、迷惑をかけてしまうことがあります、それでも一歩一歩成長を感じている毎日です。周りの尊敬できる方々から多くのことを吸収して、少しでも早くこの病院のお力になれるよう邁進して参りますので、どうかご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひいたします。





初期臨床 研修医挨拶 6

初期臨床研修医 清水 大輔

皆様、初めまして。研修医1年目の清水大輔です。平成28年に広島大学医学部を卒業し、4月より東広島医療センターで研修させていただいております。どうぞよろしくお願ひいたします。

まず、自己紹介させていただきます。出身は東広島市福富町です。高校まで地元で過ごし、大学は一度、東京工業大学工学部第四類に入学しました。専攻は、経営システム工学科で、オペレーションズ・リサーチ（数学的・統計的モデル、アルゴリズムの利用などによって、さまざまな計画に際して最も効率的になるよう決定する科学的技法）などを学んでいました。四回生まで進級し、就職活動をきっかけに、休学し、予備校生となりました。

東京での生活は、非常に刺激的なものでした。ご存知の方も多いと思いますが、福富町は町内にコンビニもなく、信号機も3つほどしかない、とてもどかな田舎町です。そんな場所からいきなり東京に上京したので、初めて渋谷のスクランブル交差点に訪れたときには、何のお祭りだろうかと思ったほどです。日本トップクラスの大学で勉強し、多くの刺激的な人と出会い、様々な人生経験ができたと思います。遠回りはしましたが、この経験を今後に活かしていくらと思っています。

スポーツは、スキーが最も得意です。他にも、軟式野球、軟式テニス、硬式テニス、ゴルフが少しだけできます。体を動かすことは大好きなので、ぜひお誘いいただけるとうれしいです。

次に、東広島医療センターを選んだ理由ですが、一番の理由としては「憧れ」です。地元から近いということもあり、当院には何度も受診する機会や、知人のお見舞いに訪れる機会がありました。そこで目にした医師こそが自分にとっての医師像であり、いつかここで働いてみたいと思うようになりました。医学生になり、実習や見学などでお世話になったときも、とても雰囲気がいいなという印象で、先生方やスタッフの方が優しく話しかけてくださったことを覚えています。

実際に働き始めてあまり時間は経っていませんが、とてもよい雰囲気の中、充実した毎日を過ごさせていただいています。まだまだ分からないことだらけですが、先生方のご指導のおかげで少しずつですが日々成長していることを実感しています。医療スタッフの方々も、優しく声をかけてくださいり、大変お世話になっています。皆様にご迷惑をおかけすることもあると思いますが、一人の医師として、東広島地区の医療に貢献できるよう精一杯頑張りますので、あたたかいご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひいたします。



初期臨床研修医 椿 夏澄

はじめまして。今年度より初期研修医として働かせていただることになりました椿夏澄と申します。神戸大学出身で、24歳まで兵庫県三田市というとても自然が豊かな場所で育ちました。自然豊かな西条は私の故郷とよく似ていて、まだ数ヶ月しか住んでいないにもかかわらず、すでに愛着が湧いています。また、東広島医療センターの先生方やスタッフの皆さんもとても優しい方々ばかりなので、1人で乗り込んできた広島ですが、寂しくなく充実した毎日を送ることが出来ています。

なぜ広島に来たのかとよく問われるので、この場をお借りしてお話を伺いたいと思います。私の両親はどちらも広島出身で、父の仕事の関係で私が生まれる前に兵庫県に引っ越しました。昨年度父が定年退職を迎え、将来的に広島に引っ越しすることに決めました。その為、就職を機会に両親より一足早く広島に来ることになった次第です。両親が広島出身のため、家で作る

お好み焼きは広島のお好み焼きでしたし、もちろん一家皆カープファンです。せっかく広島に住むようになったので、お好み焼きをいっぱい食べ、カープ観戦に行きたいと思っています。

好きなことは体を動かすことです。大学時代にはバレーボール部、卓球部、競技スキー部の3つを兼部していたほどスポーツが大好きで、働き出してからも何かしたいと考えています。もしスポーツをする機会がありましたら、是非声をかけていただけると嬉しいです。

まだまだ分からぬことだらけでご迷惑をおかけすることが多いと思いますが、“明るく元気に”をモットーに日々一生懸命頑張っていきますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。





初期臨床 研修医挨拶 8

初期臨床研修医 志熊 紘行

皆さまはじめまして。研修医1年目の志熊紘行と申します。珍しい名前をしておりまして、これでシクマと読みます。今年広島大学医学部医学科を卒業し、4月より東広島医療センターにて初期臨床研修医として研修させて頂いております。

私がこの病院を選んだきっかけは大学5年生での実習でした。当時東広島医療センターという存在は知っていましたが、田舎の古い病院だろうと勝手なイメージを抱いておりました。しかし実習でこちらの病院に来てみたら、病院はすごく新しく、きれいで、先生方、スタッフの皆さんとの和気あいあいとした感じがとても印象に残り、市内の病院なども見学したのですがやはりここに来たい、と思いこちらの病院を選びました。まだまだ未熟な私にも優しく教えてくださる先生方、スタッフの皆さんにはいつも感謝しております。

次に、私の簡単な自己紹介をさせていただきます。出身は山口の柳井というところなのですが、中学高校は広島学院へ通っておりましたし、大学は広島大学なのでほとんど広島県民のようなものです。部活は大学で卓球をしておりました。あとバドミントンのサークルに入っておりまして、卓球、バドミントンとも、やりたいというかたいらっしゃいましたらぜひ声をかけてください。体を動かすことは好きなので、何かあればぜひお誘いください。趣味と言うのもはばかられるのですが、お酒を飲むことは大好きです。西条のお店は全く分からないので皆さん良い店があれば連れて行ってください。

まだまだ未熟で何もできない私ですが、精一杯頑張ってこの初期研修で少しでもレベルアップし、皆様のお役に立てるようになりたいです。皆様なにとぞご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。



人事異動

H28.4.2～H28.7.1

転入・採用



放射線科レジデント
中橋 一嘉



神経内科医師
末田 芳雅

配置換

医師 西川 智和
→柳井医療センターへ

独立行政法人
国立病院機構 東広島医療センター 外来診療担当表

平成28年7月1日現在

変更することがありますので、恐れ入りますが窓口でご確認ください。

診療科名		月	火	水	木	金
1階	総合診療科	松本 正俊	小出 純子	小出 純子	小出 純子	小出 純子
	内分泌・糖尿病内科	午前 小田賀明	山崎由紀子	小出純子	小田賀明	小出純子
	フットケア外来	午後 小出純子	小田賀明	小田賀明	山崎由紀子	小田賀明
	糖尿病療養外来	担当医 担当医	担当医 担当医			
	糖尿病療養外来	糖尿病療養外来は、毎週火曜日(祝日等を除く)の午前9時から12時まで【完全予約制】				
	腎臓内科	佐藤 彩加	平塙 秀磨	有馬 隆弘		平塙 秀磨
	血液内科		粟屋 忠祐		粟屋 忠祐	粟屋 忠祐(再診のみ)
	神経内科	石橋 はるか 担当医(10:00~)	末田 芳雅	末田 芳雅 担当医	石橋 はるか	末田 芳雅 担当医
	呼吸器内科	新村上 功 宮崎 こずえ 小川 喬史 下地 清史	重藤 えり子	新下地 清史 宮崎 こずえ	新小川 喬史 重藤 えり子 村上 功	新宮崎 こずえ 村上 功 小川 喬史 下地 清史
	循環器内科	新梶原 賢太 原幹 城日加里 対馬 浩	新田 和宏 小野 裕二郎	新小野 裕二郎 梶原 真二 新田 和宏	新梶原 真二 原幹 城日加里 梶原 賢太	新対馬 浩 小野 裕二郎 城日加里
2階	小児科	上野 哲史 松本 淳子 出雲 大幹	下田 浩子 出雲 大幹 熊田 寛子	岡田 泰之 松本 淳子 熊田 寛子	上野 哲史 松本 淳子 熊田 寛子	下田 浩子 岡田 泰之 大幹
	外科	池田 昌博 宮本 和明 志々田 将幸 第2・4 小野	高橋 忠照 貞本 和広 豊田 幸一 大石 下村 学 第1・3・5志々田/第2・4築山	高橋 忠照 貞本 宮本 和明 第1・3・5小野/第2・4志々田	豊田 和広 大石 幸一 第1・3・5築山/第2・4下村 江村 尚悟	高橋 忠照 貞本 博学 池田 下村 小野 紇尚史 築山
	ストーマ外来	ストーマ外来は、第1、2、3水曜日及び第4月曜日(祝日等を除く)の午後【完全予約制】				
	整形外科	岸 和彦 今田 英明 渋谷 早俊 坂英樹	岸 和彦 今田 英明 宇治郷 諭	岸 和彦 渋谷 早俊	岸 和彦 宇治郷 諭 渋谷 早俊	今田 英明 宇治郷 諭 手術日
	骨粗鬆症外来	骨粗鬆症外来は、第2、第4木曜日(祝日等を除く)の14時から17時まで【完全予約制】				
	呼吸器外科	手術日	鍵本 篤志	柴田 諭	手術日	柴田 諭
	皮膚科	仁熊 利之 天野 愛純香	仁熊 利之 天野 愛純香	仁熊 利之 天野 愛純香	串畑 あづさ 第1・3・5天野/第2・4仁熊	仁熊 利之 天野 愛純香 手術日
	眼科(休診)					
	緩和ケア外来	上杉 文彦(午前のみ)			上杉 文彦(午前のみ)	
	消化器内科	濱田 博重 石垣 尚志 後藤 栄造	苗代 典昭 大原 英司	竹崎 英一 浜田 博重 石垣 尚志	後藤 栄造 苗代 典昭	苗代 典昭 大原 英司
3階	脳神経外科	勇木 清隆 貞友 清水 陽元	手術日	清水 陽元 大庭 秀雄	勇木 清隆 貞友 原 健司	大庭 秀雄 原 健司
	心臓血管外科	森田 悟	手術日	佐藤 克敏 江村 尚悟	森田 悟	佐藤 克敏
	血管内治療外来	血管内治療外来は、金曜日(祝日等を除く)の14時から16時まで【完全予約制】				
	耳鼻咽喉科	午前 担当医 武内 康治	大久保 剛 宮原 伸之	大久保 剛 宮原 伸之	担当医 ※緊急紹介患者のみ	手術日
		午後 担当医(予約患者のみ)	担当医(予約患者のみ)	(予約患者のみ) 大久保/宮原	手術日	(予約患者のみ)13:00~ 大久保/宮原
	歯科	柏井 桂	加治屋 幹人		松田 真司	應原 一久
	泌尿器科	藤原 政治 正路 晃一	藤原 政治 正路 晃一	藤原 政治 正路 晃一	藤原 政治 正路 晃一	手術日
4階	産婦人科(予約制)	手術日	兒玉 尚志 坂手 慎太郎 花岡 美生	手術日	兒玉 尚志 坂手 慎太郎 荒木 ゆみ	兒玉 尚志 花岡 美生 荒木 ゆみ

【受付時間】 8時30分～11時30分 診察時間 8時30分～17時15分 ○救急患者様は随時診療いたします。ただし、手術のため、木曜日の耳鼻咽喉科は9時30分まで(緊急紹介患者に限る)、火曜日・金曜日の皮膚科は10時30分までの受付時間となります。歯科(入院応需)は臨時に診察曜日が変更となることがあります。

【予約受付】 再診患者様につきましては、受診時に次回の診察予約ができます。また、定期的に受診されている場合には、電話での予約も可能です。電話(082)423-1489 (平日8:30から17:00)

【産婦人科】 産婦人科外来は原則的に初診も含めて予約制ですが、妊婦初診は予約なしでも受けます(火曜日・木曜日・金曜日)。

【診療日】 月曜日～金曜日(土曜日・日曜日・休日・年末年始は休診となります。)



■お問い合わせ

独立行政法人 国立病院機構
東広島医療センター

〒739-0041

広島県東広島市西条町寺家513番地

ホームページ

<http://www.hiro-hosp.jp/>

Webからは 東広島医療センター

検索

TEL082-423-2176 FAX082-422-4675